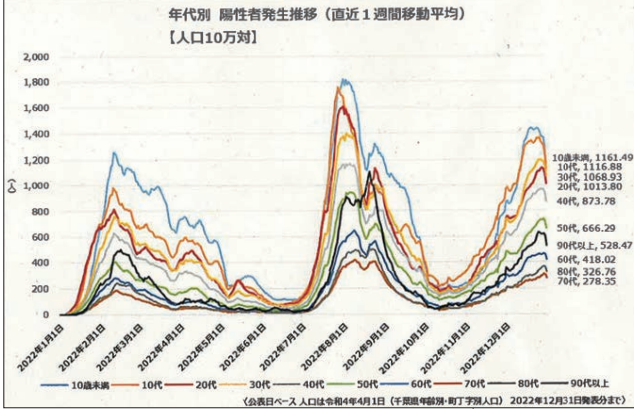


川名ひろあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

令和4年度・県政報告



小糸川

被害の前に整備求む

君津市選出で、県議会議長を始め、自民党県連会長などの要職を務め、県政をリードする川名寛章議員は、地元君津市はもとろん、千葉県の課題解決に全力を注いでいます。特に、君津市民の安心安全に直結する小糸川の整備や新型コロナウイルス感染症対策、地域振興に欠かせない主要道路の整備を始め、有害鳥獣対策などに先頭を切って活動し、多くの成果を挙げています。今号では、その一端をご紹介します。



小糸川河川改修促進期成同盟会の要望

君津市選出の川名寛章議員は、顧問を務める「小糸川河川改修促進期成同盟会」に出席し、小糸川の河川改修について、「線状降水帯による被害が出る前の整備」を要望。これに対し、県土整備部君津土木事務所は次の様に説明した。

川名議員 小糸川は、線状降水帯が来てしまうと、上の領域で降った雨の影響で溢れてしまふ。線状降水帯がいつ来るか分からない中で、地元は心配している。被害が出る前に、何とか整備していただきたい。

《小糸川の河川維持》同流竹木撤去及び浸漬については、治水上、支障と



小糸川整備後の現況

左岸375m、右岸250m、合計625mの整備が完了しており、今年度は、引き続き、左岸側の護岸工事を実施しております。

これまでに、共和橋上流の東前橋までの6.1km区間で実施しており、共和橋から中村橋までの区間1.1kmの工区を優先して整備を進めております。

《小糸川の河川整備》県の説明 中流域の勝川橋から東前橋までの6.1km区間で実施しており、共和橋から中村橋までの区間1.1kmの工区を優先して整備を進めております。

有害鳥獣対策で浜田大臣に陳情 自衛隊OBの参加を

君津市選出の川名寛章議員が会長を務める超党派の「千葉県議会有害鳥獣対策推進議員連盟」は令和4年11月、浜田靖二防衛大臣に、「有害鳥獣対策における担手の確保に関する陳情」を提出した。陳情書では、「有害鳥獣対策における担手の確保に関する陳情書」を提出した。陳情書では、「有害鳥獣対策における担手の確保に関する陳情書」を提出した。陳情書では、「有害鳥獣対策における担手の確保に関する陳情書」を提出した。

若者へのワクチン接種促進呼びかけ

1月2日現在、県内の新型コロナウイルスのオミクロン対応ワクチン接種率は、50歳以上の56.4%に対し、12〜49歳までの接種率は、41.1%で、若い方々への接種率が伸び悩んでいる状況です。その中でも、10代の人口10万人当たりの陽性者1116人、70代の陽性者278人

若者へのワクチン接種促進

健康福祉部 令和5年

若者へのワクチン接種促進 君津市選出の川名寛章議員は、委員を務める県議会環境福祉常任委員会に出席。この中で健康福祉部は、新型コロナウイルス感染症の現況について次の様に説明した。

の約4倍となっております。ワクチン接種の低迷理由としては、終わりのない「接種疲れ」や副反応の懸念、有効性を示すデータが当初少なかつた「ことなどが挙げられています。

感染拡大防止には、ワクチン接種が有効であり、感染予防効果や発症予防効果、入院予防効果が回復する、との報告があります。接種の開始時は、以前に流行していたオミクロン株の「BA.1」対応品しかなかったこと

などから、接種控えが起きたようですが、「BA.5」対応品が投入されてからは、日々の接種希望者が増加しています。

接種率の引き上げが、今後の流行被害の規模を左右すると考えられることから、重症化リスクの高い高齢者の接種率促進を図るとともに、行動範囲が広く、家族や友人などへの感染拡大リスクの高い若者への接種について、丁寧な呼びかけを続けてまいります。

者の高齢化や減少により困難となつていくことから、自衛隊OBの参加と自衛隊の支援を求めています。

陳情書によると、千葉県内の有害鳥獣による農業被害額は、平成28年度から令和2年度まで、概ね3億5千万円から4億5千万円の間に推移し、高止まりの状況が続いている。

令和2年度の被害金額を見ると、鳥類による被害は全体の25.5%で9千万円、イノシシ以外のサルシカ、ハクビシン、タヌキ、アライグマ、キョンなどによる被害が25.8%の9千2百万円で、全体の約半数48.7%、1億7千5百万円がイノシシによる被害となっており、この割合は、平成25年度と変わらない。

一方、県内の狩猟免許所持者は、平成7年度に1万人台だったが、過疎化や高齢化の影響もあつて減少し続け、令和2年度では、6千4百人余りとなっている。

そこで、同盟では、有害鳥獣対策の一層の強化に向け、次の2点について国の配慮を求めている。

① 社会員への意識が高く、野外活動経験が豊富で、高度な技術を持つ自衛隊OBに対し、鳥獣被害防止活動への参加を促すよう、広報・普及活動を充実させることについてお願いします。

② 現役の自衛隊員が鳥獣被害防止対策の組織的な支援を行うことができるよう検討することについてお願いします。

主要道路の早期完成要望

地域活性化は、まず道路整備

国道465号

追原周辺地域活性化委員会、君津市、鴨川市の要望
●市原天津小湊線の整備促進
 君津市選出の川名寛章議員は、顧問を務める「追原周辺地域活性化委員会」に出席し、主要地方道市原天津小湊線の整備促進等を要望。特に、君津市和田畑鴨川市四方木地域の事業の早期完成について要望し、君津土木



整備された県道小櫃佐貫停車場線

国定公園鹿野山観光開発協議会の要望
●久留里鹿野山湊線の早期改良

君津市選出の川名寛章議員は「国定公園鹿野山観光開発協議会」(会長君津市長に出席し、主要地方道久留里鹿野山湊線、県道小櫃佐貫停車場線、県道荻作君津線の3線について早期改良を要望。これに対し君津土木事務所は次の様に説明した。
川名議員 これは君津だけではなく、千葉県全体で考えていただきたい。
 千葉県の大きな100万人ぐらゐの観光客を集める場所そこへ来る観光客が安心安全に來られるような道路をさきと整備していただきたい。
 それにより、地域の活性化を図りたいので、特段の要望をする。
《県道小櫃佐貫停車場線》
県の説明 館山自動車道側

蔵玉隧道の整備 今年度末に完成

事務所は次の様に説明した。
川名議員 市原天津小湊線の整備については、みんなで何十年も要望している。そういうことを理解いただき、是非お願いしたい。
《黄和田畑工区》 県の説明 鴨川市側の1.0km区間と、木更津市側の黄和田畑隧道部の0.4km区間の1.4kmが供用しております。

現在、君津側0.6kmで測量を進めてきたところで、黄和田畑隧道の前後区間の整備を進めており、鴨川市側0.4kmでは、東大演習林の用地交渉を実施しているところだ。
《四方木工区》 同 約2.5km区間のうち、これまでに君津市側約0.9kmの拡幅工事が完了しております。

現在、鴨川市側の約3kmについて測量や道路の設計などを実施してきたところで、これから用地の交渉を進めてまいります。
 但し、当該区間の一部が、公園と現地が致しない状況で、法務局と協議しながら、丁寧な用地交渉を進めたいと考えております。
《国道456号黄和田畑



川名議員(右)の立ち合いで千葉県の担当者へ要望書を渡す君津市長(左)

国道410号 久留里馬来田バイパス 来年度にも全通

今年度は、200区間について舗装工事を仕上げている、残る300区間については来年度に完成させたいと考えております。
《主要地方道久留里鹿野山湊線》 同 現在、線形が悪い400区間で整備を進めております。
 これまでに、測量、道路設計、境界立会などを実施し

てきており、今年度は、擁壁設計を行うための地質調査を実施してまいります。
《県道荻作君津線》 同 現道の幅員が狭く、整備の延長の長いことから、これまでに待避所の設置を先行して進めてきたところです。
 現在、館山自動車道側の100km区間について、優先的に整備を進めており、君津

国道410号並びに関連道路整備促進期成同盟会の要望
●国道410号の整備促進
 君津市選出の川名寛章議員は、国道410号並びに関連道路整備促進期成同盟会に出席し、国道410号の開通に合わせ、現道とのつなぎ区間整備などについて要望した。これに対し、君津土木事務所は次の様に説明した。
川名議員 国道410号については、当局の努力により令和5年に開通という見込みが立った。
 しかし、大事なのはバイパスと現道とのタッチ区間を造らないと効果が増さない。当局においても、その点を勘案し、大きな予算をつけてやっていただきたい。
 君津市は、今の市長になってからも、用地に対し職員を派遣して頑張っていたとお聞き、そういう努力を認めていただき、是非、予算を増額し、早期に整備していただきたい。
《久留里馬来田バイパス》 県の説明 全長15.7kmのうち、残るは3.5kmとなっており、残る区間については、来年度には完成させてい

よって取りまとめられた行動計画に基づき、「ふれあい護岸」整備などの地域活性化に取り組んできました。
 現在、「憩いの場の整備を進めており、自然に親しむことのできる広場の整備を計画し、「憩いの場の基盤整備」として、盛土工を実施しております。
 昨年度までに2工区の盛土工が完成しており、引き続き、法面工や取付道路工を進め、早期完成に努めてまいります。

市が行う河川事業については市から負担金をもらい、河川の護岸工事と道路の拡幅工事を県が併せて工事を発行しております。
 まずは、先行して河川の工事を進めており、これまでに0.1kmが完了しております。今後は、河川の護岸整備を進めた後に、道路を拡幅してまいります。

《川谷拡幅》 同 全体17kmのうち、既に10kmが供用しております。残る0.7km区間について、線形や構造物等の検討を進めております。
《八丁拡幅》 同 全体2.2kmのうち、鴨川市側の約0.6kmについて設計等を進め用地取得に取り掛かっていると、まだまだ用地を確保できた箇所から拡幅工事を実施することになっております。
 また、南房総市側の0.3kmについて、用地測量を進めてまいります。

●県政や君津市のご相談、ご意見をお聞かせください

川名ひろあき 県事務所
 〒299-1152 君津市久保3-11-4 TEL.0439-57-0105

きたいと考えております。来年度の整備終了後は、接続部である国道456号山滝野バイパスの整備に取り掛かっています。
《川谷拡幅》 同 全体17kmのうち、既に10kmが供用しております。残る0.7km区間について、線形や構造物等の検討を進めております。
《八丁拡幅》 同 全体2.2kmのうち、鴨川市側の約0.6kmについて設計等を進め用地取得に取り掛かっていると、まだまだ用地を確保できた箇所から拡幅工事を実施することになっております。
 また、南房総市側の0.3kmについて、用地測量を進めてまいります。